

2024 年度 教育課程編成・実施の方針に照らした学習への取り組みの適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふりかえり（学科教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。

学科の入学受入れの方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

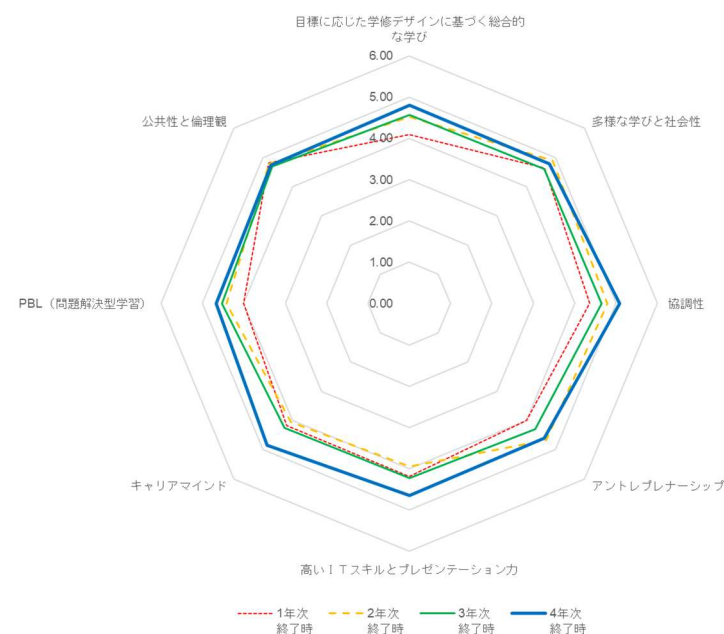
<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 産業福祉マネジメント学科

全体として回答者数 87 名（1 年次 11 名、2 年次 19 名、3 年次 23 名、4 年次 34 名）であった。学年によって回答者数がやや異なるため読み取りには注意が必要であるが、回答をもとに検証を行った。

平均値を採用して分析した結果が以下になる。

平均値	1年次 終了時	2年次 終了時	3年次 終了時	4年次 終了時
目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び	4.09	4.53	4.57	4.79
多様な学びと社会性	4.64	4.89	4.61	4.79
協調性	4.36	4.79	4.65	5.09
アントレプレナーシップ	4.00	4.68	4.30	4.62
高い IT スキルとプレゼンテーション力	4.18	3.95	4.22	4.65
キャリアマインド	4.18	4.05	4.26	4.85
PBL（問題解決型学習）	4.00	4.42	4.52	4.68
公共性と倫理観	4.82	4.79	4.70	4.74



ほぼすべての項目で 4 を超える値を示しており、概ね学年が上がるにつれて順調に平均値が上昇していくことが読み取れる。

特に「目標に応じた学修デザインに基づく総合的な学び」「協調性」「アントレプレナーシップ」「高い IT スキルとプレゼンテーション力」「キャリアマインド」「PBL（問題解決型）」は 1 年次終了時に比べて、4 年次において高い到達度を達成している。
以上から、学科の取り組みはおおむね適切と言える。